

遺愛には152大学・短大に770名以上の指定校枠

8月18日（土）13:00から遺愛の講堂で、高3対象に2019年度指定校推薦説明会を開催したところ、99組200名以上の保護者・生徒が来て下さいました。冒頭、次のようなお話をさせていただきました。

…ご存知のように遺愛には、たくさんの**指定校推薦枠**があります。**2019年度に向けては152大学・短大に770名以上の枠（大学だけでも123大学655名以上の枠があります。）、看護学校も7看護学校11名の枠**があります。一般入試ではなかなか合格するのが難しい大学もいくつもあります。皆さんにはチャンスを積極的につかんでほしいと願います。中央大学法学部法律学科、東京理科大学経営学部・理工学部、明治大学政治経済学部、南山大学国際教養学部などが新たに増えました。中央大学法学部については、進学した遺愛の先輩達が入学後も、とても頑張って非常に優秀な成績（首席）を修めているなどが高く評価されて指定してきました。とても嬉しく思います。

指定校推薦制度を利用し進学する皆さんには、次の3つのことをぜひ心に留めて希望してほしいと願います。

第1は、大学がどのような期待をして、遺愛生を迎えようとしているか、それをよく知って、志望してほしいということです。

第2は、合格決定後から遺愛を卒業するまでのことです。指定校推薦では、12月中旬頃までに高い確率で合格通知をいただくことができます。それだけに、一般入試でチャレンジしようとしている仲間への配慮をしてほしいと思います。一般入試で進学を考えている生徒が決まるのは、私立で2月、国公立大学だと前期で3月10日、後期だと3月23日くらいまで決まりません。本当に不安のなかで受験し続けます。精神的にピリピリしていると思います。自分は早く決まっても、ぜひ一般入試でチャレンジする仲間を支えてほしいと願います。

第3に大学入学後の勉強です。指定校推薦で進学する場合には、大学の期待、遺愛の看板を4年間背負っていくのだということを強く自覚し、入学後もしっかりと勉強していただきたいと思います。…

2018年8月22日（水）



←正面の本館の前に、プレハブの管理棟ができました。校舎への出入りは、この玄関からできます。玄関の扉を開くと、受付があり、職員室・講師室はこの管理棟の2階です。これから5年半使用する予定です。着々と修復工事の準備が始まっています。